

「神の御顔を見ているように」  
聖書箇所：創世記33章1~20節

---

【1】 自ら彼らの先に立って進んだ

・ヤコブの人物像

- ① 名前の由来：「かかと(アケブ)」をつかむから「ヤコブ」
- ② 人からの評価：人をだまし押しつける人物。(創世記 27:35~36)

・ヤコブの転機

ヤボクの渡し場での神との格闘。(32:22~30)

「私は顔と顔を合わせて神を見た」(32:30)

→新しい人「イスラエル」の歩みがスタート

・エサウとの再会

「自ら彼らの先に立って進んだ」(29:3)

【2】 自分自身が変わえられることで

・七回地に伏して

・エサウとの和解

・「贈り物」(献上物)から「祝いの品」へ

【3】 神の御顔を見ているように

・ヤコブはエサウに「神の御顔を見ているようです」(33:10)と言った。

←ペヌエルでの告白「私は顔と顔を合わせて神を見た」(32:30)

・ヤコブ祭壇を築く

- ① 神との特別な関わりを記念するため
- ② アブラハム、イサクの信仰を継承する者として  
(参照；創世記 12:6~8, 26:25, 33:20, 35:1~7)

